

起稿文

定年後は黄金の10年

関西方面 趣味を持ち楽しく有意義に暮らして42年間のサラリーマン 趣味と実益と健康を兼ねた家庭

趣味と実益と健康のため

家庭菜園の準備に入る

栗東市から南国市 福船に引越して来て5年が経過しました。こちらに来て最初に買ったのは農業倉庫、裏庭のビニールハウス、畑の片づけでした。父が亡くなり年老いた母では農作業は無理で、使えない農機具やビニール等が沢山あり、廃棄処分や整理に手間と時間がかかりました。

ある日、高知新聞で「定年後は黄金の10年」という記事を読み、「長続きしてやめるにやめられない趣味を見つけて、後半の人生を悔いのないものにしてよう」という文章が目につきました。定年退職者がそれぞれの

菜園の準備に入りました。①再就職しないので費用のかからないもの②知らない土地なので一人でできるもの③時間があるので毎日できるもの④天気のある事を考え家の内外でそれぞれできるものを条件設定し、外では家庭菜園の内ではパソコンをする事に決めました。農作業は子供の頃手伝った経験があり、稲刈りで腰が痛かった事、寒風が吹きぬける川で野菜を洗った辛

開墾もおわり、作付けを始めた農園



い事などが思いだされ、家庭菜園をすることを躊躇(ちゆうちよ)しましたが、我が家には田や畑、農業倉庫やトラクターがあり都会のサラリーマンに比べると環境や設備は整っていました。当初計画した300坪ほどの畑は家の近くにあり便利ですが、200mほど離れた畑に変更し

ました。畑の近くに川があり、いつでも水の確保ができるのが決定の理由です。畑の測量を行い畝、通路、給水、排水方法と位置を決め、電気は発電機を使用することにし、作図と作付けの計画を立てました。使用する機械、工具、道具の購入は近くのホームセンター等数件を見て回り金額の比較表を作成して安い店から購入しました。

当初は40坪程度の荒れた畑を開墾しながら、親戚で譲り受けた軽トラをはじめ、管理機、畝立て機、発電機、エンジンポンプ、チェンソー、草刈り機等を揃えました。趣味とはいえ初期費用は思ったより高くなりましたが、肉体労働が楽になり作業効率が良くなるので納得しています。

農作業は素人なので家庭菜園に関する書物を読み、NHKで放映している「野菜の時間」を参考にして栽培方法を学びながら家庭菜園の準備は整いました。(野菜づくりは次回掲載予定です)

(寄稿者・福船 内村 弘)